

LGBTQの基礎知識と
トランスジェンダー
(性同一性障害)
当事者の困難について



LGBTとは？

L : レズビアン(Lesbian)

- 女性同性愛者

G : ゲイ (Gay)

- 男性同性愛者

B : バイセクシャル(Bisexual)

- 両性愛者

T : トランスジェンダー/トランスセクシャル(Transgender/Transsexual)

- 肉体的性別と心の性別が一致しない人たちの事

LGBT以外のセクシャリティ

Xジェンダー

- 自分の性別を男性でも女性でもないと思っている人。
- 男性でも女性でもあると思っている人
- 自分の性別を決めたくない人の事

アセクシャル

- 他の人に対して恋愛感情、性的欲求を持たない人の事(無性愛者)

パンセクシャル

- あらゆる性別の人が恋愛対象になる人(全性愛者)

クエスチョニング

- 自分の性的指向、性自認がわからない人、定まってない人

性的マイノリティの人の割合は日本の人口のおおよそ8~10%と言われている。



人の性別を構成する要素



4つの頭文字を組み合わせて

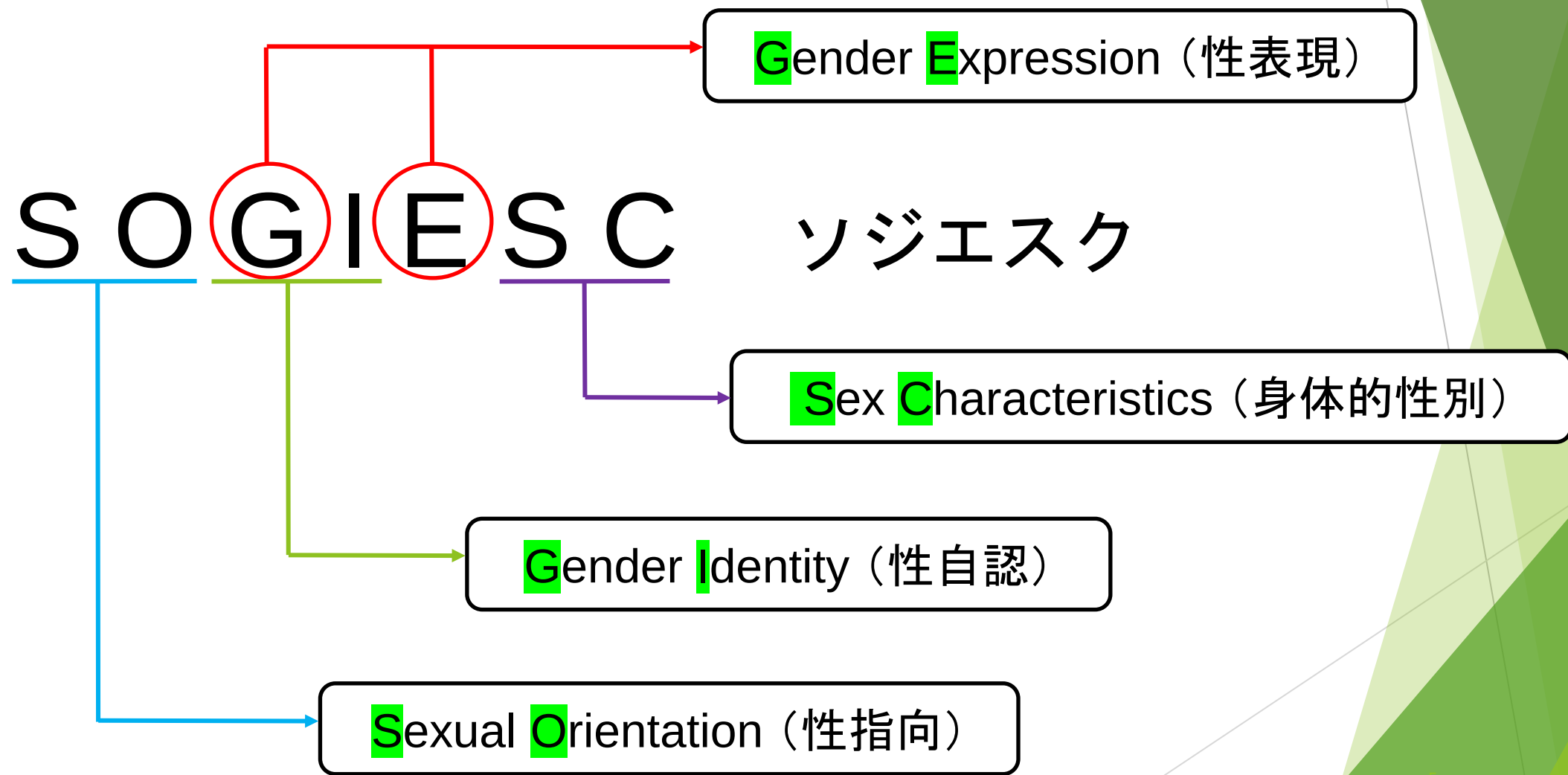
「SOGIESC」

ソジエスク

と言います。

人間の性、性的マイノリティのことを知る上で大事な要素です。

人の性別を構成する要素



トランスジェンダーと性同一性障害の違い

トランスジェンダー

- 身体的性別と心の性別に違和感がある人

性同一性障害(性別違和)

- 身体的性別と心の性別に違和感があり、その状態を専門的知識を持った精神科のお医者様に診断されると性同一性障害と言われる。
- 現行法においては診断書がないと戸籍の変更等はできない。

当事者の困りごと

- ▶ トイレや更衣室
- ▶ 公的身分証が必要な場面
(特に見た目と戸籍上の名前、性別が違う場合)
病院、役所、レンタルDVDショップ、投票所(選挙時) 等
- ▶ 社会での差別や偏見
- ▶ 家族や友人になかなか相談できない

皆様へのお願い

- ▶ 同性を好きになること、性別に違和感があることは少数派であったとしても、決しておかしいことではないという認識を持ってみて・・・
- ▶ 当事者はいないのではなく言えないだけ。
- ▶ 当事者と出会ったときはその人の心の性別に寄り添った対応を・・・
- ▶ もし当事者にカミングアウトされた時は否定せず、ちゃんと話を聞いてあげてください。
- ▶ どんな場合でも決して本人の同意なく他の人に口外しないでください。
例えそれが良かれと思った事だったとしても**アウティング**です！

よろしくお願いします。



最後に...

当事者の全てを理解するのは難しいと思います。

でも理解しようとする努力、相手にできるだけ寄り添おうとする気持ちは
忘れずに持ち続けてもらえたら嬉しいです。

どうぞよろしくお願いします。

ご清聴ありがとうございました。

